

東三河が世界とつながる アジア・パラ競技大会

2026年、東三河はアジアとつながる大きな舞台を迎えます。愛知県では、**アジア競技大会とアジアパラ競技大会**が開催されます。

私はF1ドライバーとして世界各国を転戦してきましたが、その経験から、スポーツは単なる競技ではなく、人と人、地域と世界をつなぐ力があることを実感しています。

国際スポーツ大会は競技の枠を超え、地域の魅力を発信し、新たな交流や経済活動を生み出します。だからこそ私は、この大会を東三河の未来につながる大きな機会だと考えています。

《東三河も大会の舞台に》

2026年9月19日から10月4日にかけて第20回アジア競技大会、続いて10月18日から24日には第5回アジアパラ競技大会が開催されます。

アジア競技大会は45の国と地域が参加する**アジア最大のスポーツの祭典**です。アジアパラ競技大会も、アジア最高峰の**パラスポーツ大会**として開催されます。アジア各国・地域を代表する**トップアスリート**たちが集い、世界レベルの競技が繰り広げられます。「名古屋の大会」という印象を持たれる方も多いかもしれませんが、

実際には愛知県全体が舞台です。

豊橋市では野球、空手、テコンドー、田原市ではサーフィンなど、そしてアジアパラ競技大会ではゴールボールが開催されます。

《限界に挑むアスリートたち》

私が特に注目しているのがアジアパラ競技大会です。

2016年のリオ・パラリンピックを現地で観戦した際、そこにいたのは「障害のある選手」ではなく、自らの限界に挑み続ける**トップアスリート**たちでした。

その真剣勝負は、多くの人に勇気や希望を与えます。同時に、障害の有無にかかわらず互いを尊重し合う**共生社会**について考えるきっかけにもなります。

豊橋で開催される**ゴールボール競技**を、ぜひ多くの方に見ていただきたいと思えます。

《スポーツが未来をつくる》

私も現在、自民党スポーツ立国調査会の活動に携わっています。近年は**スポーツを競技だけでなく、教育、健康づくり、地域活性化、国際交流、共生社会の実現**など、幅広い価値を生み出す**社会的基盤**として捉える考え方が広がっています。

アジア・アジアパラ競技大会も、まさにその可能性を体現する大会です。

《スポーツの力を東三河の未来へ》

大会期間中には、アジア各国・地域から多くの選手や関係者、観客の皆さんが愛知県を訪れます。これは東三河の魅力を世界に発信する**絶好の機会**です。

豊橋・田原には、日本有数の農業や水産業、ものづくり産業があります。豊かな自然や歴史文化も知っています。こうした地域の強みを**流やビジネス、国際的なつながり**が生まれる可能性があります。

スポーツの力が人をつなぎ、地域を元気にし、未来を切り拓く。その可能性を私は信じています。

アジア・アジアパラ競技大会を**一時的な盛り上がり**で終わらせるのではなく、その成果を東三河の**発展と次世代への希望**につなげていく。そのため**全力で取り組んでまいります**。

ぜひ会場で、**アジア最高峰のアスリート**たちが**限界に挑む姿**を体感していただきたいと思えます。スポーツの力で、**日本を強く豊かに**。そして、**アジアとともに未来へ**。

衆議院議員

山本左近



H.P.



やまもと・さくら

愛知県豊橋市出身。1982年7月9日生まれ。43歳。豊橋南高校卒業、南山大学。11歳、レーシングキャリアスタート。19歳、単身渡欧24歳、当時日本人最年少F1ドライバーデビュー。30歳、帰国後、医療介護福祉の世界に。医療法人・社会福祉法人さわらびグループの統括本部長就任。2019年第25回参議院議員通常選挙(比例代表)に自民党公認で立候補し、落選。2021年第49回衆議院議員総選挙(東海ブロック比例代表)に自民党公認で立候補し初当選。当選直後から、合成燃料の国産化の必要性を訴え、3年以内に日本初の実証プラントの稼働を実現した。また、2022年8月、初当選後一年に満たない中、文部科学大臣政務官兼復興大臣政務官に異例の抜擢。科学技術・文化の担務を中心に活躍。2024年第50回衆議院議員総選挙にて落選。2026年第51回衆議院議員総選挙にて2期目の当選。英語スペイン語を話すマルチリンガル。

東三河会場一覧

アジア競技大会：9月19日から10月4日

- 野球 @豊橋市民球場
- 空手 @豊橋市総合体育館
- テコンドー @豊橋市総合体育館
- サーフィン @田原市赤羽根町大石海岸
[太平洋ロングビーチ]

- 自転車ロードレース @新城市内特設コース
- トライアスロン @蒲郡市内特設コース

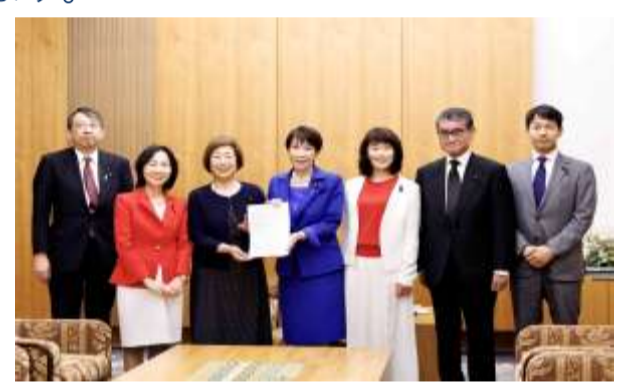
アジアパラ競技大会：10月18日から24日

- ゴールボール @豊橋市総合体育館



アジア競技大会とは：アジア競技大会は、4年に1度開催されるアジア最大のスポーツの祭典です。アジア・オリンピック評議会（OCA）が主催し、アジアの45の国と地域が参加します。

アジア競技大会の歴史：アジア競技大会は、第二次世界大戦後まだ間もない1951年、戦禍によって引き裂かれたアジア諸国の絆を、スポーツを通じて取り戻し、アジアの恒久平和に寄与したいとの願いを込め、日本を含む11か国の参加の下、第1回大会がニューデリーで開催されました。以来、スポーツにより友情を育み、多様性を認め合うことを通じて、国際平和に寄与する一大イベントとなっています。



高市総理へ文化立国調査会の提言申入れ。「日本文化を、強く豊かに。」～文化立国実現に向けた国家戦略の構築

- ・日本の文化予算は増加しているが、諸外国と比べると文化投資は依然として少なく、更なる拡充が必要。
- ・文化関連産業は約100兆円規模とされ、マンガ・アニメ・ゲーム・音楽・映画などは日本の国際競争力を支える重要な成長分野。
- ・コンテンツ産業の発展には、伝統文化、舞台芸術、美術、文化財など、多様な文化芸術の振興と継承が欠かせない。
- ・文化財の保存・活用や、劇場・博物館・美術館など文化施設の整備に国が責任を持って取り組む必要がある。
- ・文化への投資を成長投資と位置づけ、新たな価値創造と経済成長につなげる好循環を実現する。
- ・国際観光旅客税も活用し、2030年度までに文化庁予算4,000億円を目指す。

開会中も土日は、地元で活動しています。気軽にイベントなどにお声かけください！



豊川リレーマラソンにチーム山本左近ランニング部で参加。42.195kmをチームで走るの、チームワークと一体感が通常のマラソンとは違う達成感がありました。



ミニ集会で市内各地で開催しています。皆さんとの対話の中で、様々な課題を聞かせていただいています。いただいたご意見は、国政へ届けています。



地域のチャリティーイベントに出席。学生さんから高齢者の方まで幅広皆さんと交流できる機会であり、地域での話題を聞かせていただきました。



前田南町神明社にて月2回行われている朝市「もったいない市」。地元でお野菜などを作られている方々などのお話を聞かせていただきました。しっかりと政策に繋げてまいります。

JAPAN as No.1 Again!

日本を再び世界一の国へ